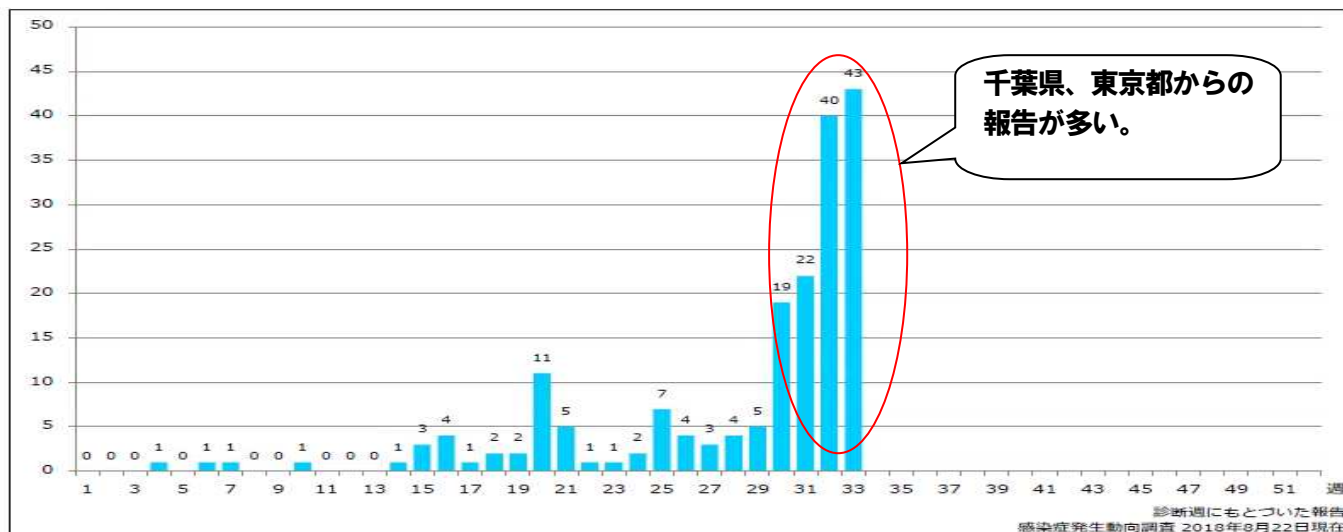


風しんにご注意ください！

現在、関東地方で風しんの届出数が大幅に増加しており、今後、全国的に感染が拡大する可能性があります。特に30～50歳代の男性が多く報告されています。

風しんに対する免疫をもたない女性が、妊娠中（特に妊娠初期）に風しんに初めて感染した場合、胎児が風しんウイルスに感染し、白内障、先天性心疾患、難聴などをもった赤ちゃん（先天性風しん症候群）が生まれることがあるため注意が必要です。

【風しんの発生状況】 週別風しん報告数 2018年 第1～33週(8月19日時点)(n=184) *香川県での発生は1件



- **風しんとは**・・・風しんは、風しんウイルスを原因とした感染症で、感染後2～3週間の潜伏期間を経て、発熱、発しん、リンパ節の腫れが出現します。
- **感染経路**・・・風しん患者の咳やくしゃみ、口から出るつばなどのしぶきに含まれるウイルスによって感染します。
(飛まつ感染、接触感染)
- **治療**・・・特效薬はなく、症状をおさえるための治療が中心となります。

予防のポイント

★**予防接種(ワクチン接種)が効果的な予防法です。**

特に妊婦の周囲の人(※)や妊娠希望者等で抗体のない方は、積極的にワクチン接種を受けましょう。

(※)平成28年度の国の調査によると、30歳代後半から50歳代の男性の5人に1人は風しんの免疫を持っていなかったとの結果があります。明らかに風しんにかかったことがある、風しんの予防接種を受けたことがある又は風しんに対する抗体が陽性であることが確認できる人以外は風しんの予防接種(任意)を受けることをお勧めします。

★**定期予防接種対象者は積極的に予防接種を受けましょう。**

(対象者：生後12か月以上～24か月未満の子、5歳～7歳未満の小学校入学前1年間にあたる子)

★**妊娠中の女性は予防接種が受けられないため、可能な限り人ごみを避ける、マスクを着用するなどしましょう。**

★**手洗いは感染症予防の基本です！**

<発行元>

香川県健康福祉部薬務感染症対策課 TEL087-832-3302

香川県感染症情報 <http://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/subsite/kansenshoujouhou/index.shtml>